



社協瓦版

区社協だより

令和3年
8月

西区社協 中区社協合同版
(もくせい82号 ふくしな93号)

地区社会福祉協議会 (地区社協)の活動支援

地区社協は、その地域に暮らす人々によって組織された最も身近な福祉団体です。より良い地域にするために、高齢者や親子の「集いの場」等の福祉活動を行っています。

区社協では、助成金や情報提供などを通じて、地区社協の活動支援を行っています。



子育てサロン

福祉教育

小・中・高校や企業、地域等からの依頼に応じて、福祉教育の支援や啓発を行います。講師派遣、プログラム企画、また、車いす、高齢者疑似体験セット、白杖などの貸出も行っています。お気軽にご相談ください。



ボランティア入門講座



ふくし体験講座



紙芝居の読み聞かせ

ボランティア保険の受付も行っています。



山下公園通り歩道清掃活動

コロナに負けるな!



誰もが安心して
自分らしく暮らせる
まちづくりを

「したい、してみたい」
「困った」をつなぎます



ボランティア
してみたい

ボランティア センター

ボランティアを“必要としている人”と“活動をしたい人”をつなげたり、ボランティア登録をしている人への情報提供、ボランティアを始めたい人向けの講座の開催などを行っています。区内で災害が発生した時は、災害ボランティアセンターを立ち上げます。



食品寄付

善意銀行

寄付したい!

企業、団体、個人からの善意(寄付)を、それを必要としている人、団体、活動にお届けする仕組みです。

令和2年度は西区・中区合わせて47件、1,120万634円の寄付金と寄付品(マスク、消毒液、車いす、絵本等)をいただき、保育園、高齢者施設、障害者施設等の福祉施設や、地区社協、高齢者や親子の集いの場、こども食堂、日本語教室等地域活動団体に配分しました。

困ったときの相談窓口

こんな時
どうしたら…

活動を
始めたい!

地域で、職場で、学校で「何かやってみよう」「助成金情報がほしい」「こども食堂を探している」「地域に気になる人がいる…」等、ふだんのくらしのなかの“ちょっと困った”そんな相談を受け付けています。区内の福祉団体や福祉施設、行政、地域ケアプラザ等と連携し、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を進めています。

共同募金会区支会、日赤地区委員会、保護司会、更生保護女性会、遺族会等の事務局も担っています。



移動販売

誰もが安心して地域で暮らせるよう、活動助成や情報提供、話し合いの場などの地域づくりを行っています。

福祉保健 活動拠点

福祉保健活動拠点は、地域で自主的な福祉活動・保健活動を行っている団体等が利用できる施設です。

多目的研修室、団体交流室、対面朗読室・編集室、録音室、点字製作室が利用できます。(事前に利用団体登録が必要です)

また、電車・バス・タクシー等の交通機関を1人で利用することが難しい障害のある方や、自分で金銭や大切な書類の管理を行うことが難しい方などが地域で安心して暮らせるよう、各サービスを提供しています。

(移動情報センター、あんしんセンターの運営)



録音室



団体交流室

「社会福祉協議会(社協)」とは

「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」を実現するために、住民やボランティア、市民団体など地域の公私福祉関係者とともに地域福祉活動を展開する非営利の民間団体です。社会福祉法に基づき、地域福祉の推進を図ることを目的に都道府県・市区町村のそれぞれに組織されています。民間としての「自主性」と広く住民や社会福祉関係者に支えられる「公共性」という二つの性格を併せ持っています。

賛助会員お申込みのお願い

区社協の趣旨や事業に賛同くださる企業や団体または個人の方々に、「賛助会員」として年度ごとに活動資金のご支援いただく仕組みです。賛助会費は区社協事業および地区社協事業に活用させていただきます。

みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ

・西区エンディングノート連続講座 全3回(9/27,12/16,2/28)【申込受付中】
・令和3年7月大雨災害義援金【受付中】

社会福祉法人

横浜市中区社会福祉協議会

〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル4階
みなとみらい線日本大通り駅 徒歩4分

☎045 (681) 6664 FAX045 (641) 6078

中区社会福祉協議会 会長 松澤秀夫

✉info@nakasha.net

HP http://www.nakasha.net/



令和2年度事業報告・決算報告はこちら

社会福祉法人

横浜市西区社会福祉協議会

〒220-0011 横浜市西区高島2丁目7番1号 ファーストプレイス横浜3階
横浜駅東口徒歩4分

☎045 (450) 5005 FAX045 (451) 3131

西区社会福祉協議会 会長 米岡美智枝
新会長が就任しました。人物風土記をご覧ください。

✉info@yoko-nishishakyo.jp

HP http://www.yoko-nishishakyo.jp



令和2年度事業報告・決算報告はこちら

西区社協キャラクター
ニシ・ニコ・マッチ氏



人物風土記

○：「まさか私が」。

西区社会福祉協議会の理事会で会長に推薦されたときの率直な感想だ。これまで地区の社会福祉協議会（以下、社協）活動に熱を注いできた実績が高く評価されたようだ。「私に会長が務まるかしら。やるしかないかな」とはにかなだ。

○：伊勢町や老松町、西戸部町など西区南部に位置する第4地区の社協会長として、マタニティブルーなどの子育てに関する研修会を独自で実施、その時々に関心事を取り上げてきた。「地元なので皆さん参加

しやすく、また評判も良かったですね」と振り返る。「地域に必要なことは尽くさない。お祭りに光を当てる」として、りなどは2年連続で中止

当事者性の高いテーマになると、いざ始めよう。横浜翠嵐高校から横

という時に大変。考え方のギアチェンジが必要ですね」と指摘した。

○：横浜の出身。父親が警察官だったことから小学生のころは三浦や浦賀、茅ヶ崎など県内を数年おきに転居していたという。中学生以降は戸塚

浜国大へ進み、卒業後は私学で6年ほど理科の教師を務めた。結婚を機に西区へ。以来50年余り。土いじりが好きで自宅では米ナスやトマト、キュウリにトウモロコシなど自家菜園を楽しむ。

地域づくりに情熱



●このほど西区社会福祉協議会の会長に就任した

米岡 美智枝さん

西区西戸部町在住 77歳

○：子どものPTA会長を務めたのがきっかけで、気づいたら地域の活動にどっぷり。羽沢西部自治会や第4地区の環境事業推進委員、一本松まちづくり協議会の代表を歴任、地域食堂も手掛けている。「とにかく、地域をつくっていくことを考えてきました」。その思いは今も変わらない。それぞれが暮らすまちをいかにして活性化させるか。そのために区社協会長の役割はどうあるべきか、思いをめぐらす。